



学校だより

きずな

学校教育目標 夢に向かって 自ら学び 共に伸びる

熊野町立熊野第一小学校
令和7年12月19日
校長 梶 弘樹



子供たちのつながり

～縦割り掃除～

11月後半に縦割り掃除がありました。いつもは同じ学級の仲間と掃除をしますが、縦割り掃除では、縦割り班の仲間と掃除をします。異学年の交流を増やして、子供たちに“あこがれ”と“思いやり”の心情を育もうと、今年度みんなでチャレンジしました。

本校では初めての取組です。うまく掃除ができるだろうかと心配していましたが、そこはさすが、熊野第一小学校の子供たちと先生方です。綿密な計画と準備のもと、想像以上に集中して掃除に取り組みました。掃除場所では、6年生と1年生が一つのバケツを囲んで雑巾を洗ったり、廊下や教室で二人が並んで同じペースで同じ拭き方で拭き掃除をしたりしていました。「6年生のお兄ちゃんはやさしい?」「うんやさしい」2人とも笑顔です。掃除が終わって教室に帰る児童に聞いてみました。「掃除どうだった?」「楽しかった」「どんなところが楽しかったの?」「やったらきれいになるところ」。別の子に、「縦割り掃除のどういふところがいい?」「いろんな人と仲良くなれる」「協力できるところ」などうれしい答えが返ってきました。



～お弁当作り～

6年生が家庭科でお弁当作りをしました。校長室にも、おすそ分けでそれぞれのグループで工夫したおかずを届けてくれました。野菜や肉などをバランスよくおいしく食べられるように献立もよく考えられていて、とてもおいしくいただきました。

特別支援学級の児童も同様に調理実習をしました。作ったお弁当を教室に持ち帰って、さあいよいよ“いただきます”です。でも、その子はなかなか食べようとしません。特別支援学級のみんなは心配して、どうしたのかなと考えました。「持って帰ってお母さんに見せたいんじゃないかな。」ある子が言いました。「そうなの?」と担任の先生がその子に尋ねます。すると、「そうだよ。」という本人の意思表示があり、「えっ、そうだったの」と、担任の先生はびっくり。担任の先生は、そのお弁当の写真とその子と一緒に書いた手紙をお母さんへ渡したそうです。自分の意思をはっきりと表して、お母さんへの気持ちを伝えたことにその子の成長を感じ、とてもうれしいお弁当作りでした。

